

⑥ ドイツにおける「やさしい言語」

“leichte Sprache” 「やさしい言語」

どうして「やさしいドイツ語」ではないのか？

⇒ 取り組みの当初の主な対象者は「ドイツ人」だった：
知的障がい者・学習障がい者

⇒ EU全体の各言語に関する取り組み

背景

- People first (1970年代から欧米にて):
self-advocacy movement 自己権利擁護運動
- “I am tired of being called retarded - we are people first”
- “Nothing About us without us”
「私たちの事を私たち抜きで決めないで」
- 国連の「障害者の権利に関する条約」(2006年に採決)
- ⇒ サービスではなく、権利!

「やさしい言語のルール」

Inclusion Europe (2009)

Easy-to-read-logo



品質保証マーク

ご参考までに

チェックリストのPDF
→ チャット

Leichte Sprache

やさしい言語

(⇒ Easy English)

- ・ 目標：
マイノリティーの社会参画・包摂
- ・ ルールがある

Einfache Sprache

簡単な言語

(⇒ Plain English)

- ・ 目標：
幅広い対象者のための「分かりやすさ」
- ・ 目安はあるものの、ルールはない